

特別展 京のかたな

匠のわざと雅のころ

出品予定作品

会期：2018年9月29日（土）～11月25日（日）

主催：京都国立博物館、読売新聞社、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿

*2018年6月11日現在の予定です。一部の作品は会期中展示替えを行います。指定名称には次の略称を用いています。重要文化財…重文 重要美術品…重美 展示作品は、都合により変更される場合があります。最新の情報は展覧会公式サイト（<https://katana2018.jp/>）などでご確認ください。

第一章 京のかたなの誕生

指定	名称	所蔵
重美	往昔抄（永正十六年写本）	
重文	後三年合戦絵詞 下巻	東京国立博物館
国宝	平治物語絵巻 六波羅行幸巻	東京国立博物館
国宝	太刀 銘三条（名物三日月宗近）	東京国立博物館
重文	太刀 銘三条	岐阜・南宮大社
重文	太刀 銘宗（以下不明）	福井・若狭彦神社
重文	太刀 銘吉家作	京都国立博物館
重文	太刀 銘吉家作	香雪美術館
重美	太刀 銘有成（号石切丸）	大阪・石切劔箭神社
重文	太刀 銘兼永	日本美術刀剣保存協会
	太刀 銘国則	

第二章 京のかたなと後鳥羽天皇

国宝	後鳥羽天皇像	大阪・水無瀬神社
重文	後鳥羽院宸翰御消息（九月廿三日）	大阪・水無瀬神社
重文	後鳥羽天皇宸翰熊野懐紙（山河水鳥旅宿埋火）	京都国立博物館
重文	太刀 菊御作	京都国立博物館
重文	太刀 菊御作	徳川美術館
重文	太刀 菊御作	林原美術館
重文	太刀 菊御作	黒川古文化研究所
重美	太刀 （菊紋）一	

第三章 京のかたなと吉光

重文	太刀 銘国友	愛知・熱田神宮
重文	太刀 銘国綱	徳川美術館
重文	太刀 銘国清	
国宝	太刀 銘久国	文化庁
国宝	太刀 銘則国	京都国立博物館
重文	太刀 銘国光	黒川古文化研究所
重文	太刀 銘国吉	
重文	刀 銘左兵衛尉藤原国吉（号鳴狐）	東京国立博物館
	短刀 銘国吉	京都国立博物館
国宝	短刀 銘吉光	立花財団
国宝	短刀 銘吉光（名物後藤藤四郎）	徳川美術館
重文	劔 銘吉光	愛知・熱田神宮
重文	薙刀直シ刀 無銘（名物骨喰藤四郎）	京都・豊国神社
重文	短刀 銘吉光（名物秋田藤四郎）	京都国立博物館
重文	短刀 銘吉光（名物岩切長束藤四郎）	東京国立博物館
重文	短刀 銘吉光（名物前田藤四郎）	前田育徳会
重文	短刀 銘吉光（名物博多藤四郎）	文化庁
重文	短刀 銘吉光（名物信濃藤四郎）	致道博物館

指定	名称	所蔵
重美	短刀 銘吉光（名物包丁藤四郎）	徳川美術館
	脇差 銘吉光（名物鯨尾藤四郎）	徳川美術館
重美	短刀 銘吉光（号五虎退）	
	短刀 銘吉光（名物毛利藤四郎）	東京国立博物館
重美	太刀 銘国定	京都国立博物館
	短刀 銘油小路忠家造／延文三年仲春	

第四章 京のかたなの興隆

国宝	太刀 銘定利	東京国立博物館
	短刀 銘定利	
国宝	太刀 銘国行（号明石国行）	日本美術刀剣保存協会
重文	太刀 銘国行	徳川美術館
	短刀 銘国行	京都国立博物館
重美	太刀 銘国俊（名物鳥養国俊）	徳川美術館
国宝	太刀 銘来孫太郎作（花押）／正応五〇辰八月十三日（以下不明）	徳川美術館
国宝	太刀 銘来国俊	
国宝	短刀 銘来国俊／正和五年十一月日	愛知・熱田神宮
国宝	短刀 銘来国俊	黒川古文化研究所
	鑓 銘来国俊	
国宝	太刀 銘来国光／嘉暦二年二月日	東京国立博物館
国宝	太刀 銘来国光	九州国立博物館
国宝	短刀 銘来国光	
重文	短刀 銘来国光（名物新身来国光）	
国宝	短刀 銘来国次	
重文	太刀 銘来国次	
	鑓 銘来国次	東京国立博物館
国宝	短刀 銘備州長船住景光／元亨三年三月日（号謙信景光）	埼玉県立歴史と民俗の博物館
重文	短刀 銘光包	
	太刀 朱銘 千代鶴国安 木屋〇研之（号次郎太刀）	愛知・熱田神宮
重美	太刀 銘藤島友重	京都国立博物館
重文	太刀 銘了戒嘉元三年三月日／山城国住人九郎左（以下切）	愛知・熱田神宮
	薙刀 銘了戒子息久信作 徳治三年戊申十月六日	徳川美術館
	刀 額銘 了戒守能作	香雪美術館
重文	太刀 銘国時	和歌山・紀州東照宮
	刀 銘九州肥後同田貫上野介（王貞治佩用）	九州国立博物館

第五章 京のかたなの苦難

重文	騎馬武者図	京都国立博物館
重文	真如堂縁起	京都・真正極楽寺
重文	十二類絵巻	
国宝	短刀 銘国光（名物会津新藤五）	
	短刀 銘正宗	
国宝	刀 金象嵌銘長谷部国重本阿（花押）／黒田筑前守（名物圧切長谷部）	福岡市博物館
重文	刀 無銘伝長谷部	黒川古文化研究所
重文	短刀 銘長谷部国重	
重文	短刀 銘長谷部国信 藤原友吉	愛知・熱田神宮
重美	太刀 銘長谷部国信（号からかしわ）	
	鑓 銘長谷部国信	京都国立博物館
重文	太刀 銘信国	和歌山・紀州東照宮
重文	短刀 銘信国	

指定	名称	所蔵
重文	短刀 無銘	京都国立博物館
	刀 銘京信国十七世之孫筑之前州源茂包造之／宝曆十二季春吉日	福岡市博物館
	太刀 銘吉次	京都国立博物館
	短刀 銘達磨	
重文	太刀 銘吉則	岐阜・榊山神社
重美	短刀 銘三条吉則作	香雪美術館
重美	短刀 銘平安城住光長／元享二年二月日	黒川古文化研究所
	太刀 銘平安城長吉	香雪美術館
	刀 銘村正（有栖川宮熾仁親王佩用）	日本美術刀剣保存協会
	短刀 銘村正	

第六章 京のかたなの復興

重文	刀 銘本作長義天正十八年庚寅五月三日二九州日向住国広銘打天正十四年七月廿一日小田原参府之時從屋形様被下置也長尾新五郎平朝臣顯長所持	徳川美術館
重文	刀 額銘来国光／切付銘埋忠磨上之	京都国立博物館
	短刀 朱銘元和二 正宗／光徳（花押）（名物朱判正宗）	
重文	刀 金象嵌銘本多美濃守所持／義弘本阿（花押）（名物桑名江）	京都国立博物館
	脇差 銘以南蛮鉄於武州江戸越前康継／骨喰吉光摸	東京国立博物館
	秀次公縁起絵巻	京都・瑞泉寺
重文	阿国歌舞伎図屏風	京都国立博物館
	堀江物語絵巻	京都国立博物館
重文	太刀 銘山城国西陣住人埋忠明寿（花押）／慶長三年八月日他江不可渡之	京都国立博物館
重文	鍔 銘城州埋忠作／文禄二年十二月日	山形・上杉神社
重美	脇差 銘 武蔵大掾藤原忠広／寛永六年九月廿四日 切物明寿七十二才時 此忠広埋忠明寿弟子	東京国立博物館
	刀 銘東山住美平／宗昌就	
重文	刀 銘慶長九年十一月吉日信濃守国広作／依賀茂祝重邦所望打之	黒川古文化研究所
	刀 銘日州古屋住国広山伏時作（以下切）	
重文	刀 銘国安	東京国立博物館
重文	刀 銘大隅掾藤原正弘／慶長十一年三月吉日	東京国立博物館
	劍 銘肥後住人越前守藤原国次／貞享四丁卯歳十月吉日	永青文庫
重文	刀 銘信濃守藤原国広造／越後守藤原国儔	和歌山・紀州東照宮
	刀 銘越後守藤原国儔	京都国立博物館
	刀 銘濃州関住兼定作（号歌仙兼定）	永青文庫
	刀 銘洛陽堀川住歳長	京都国立博物館
	短刀 銘陸奥守大道作	京都国立博物館
	短刀 銘伊賀守金道	京都国立博物館
重美	刀 銘越中守正俊	
重美	脇差 銘越中守正俊	
重美	刀 銘山城大掾藤原用恵国包／慶安元年八月吉日	黒川古文化研究所
重美	刀 銘用恵国包作	
	刀 銘吉行（坂本龍馬佩用）	京都国立博物館

第七章 京のかたなの展開

重美	刀 銘河内守藤原国助	
重美	刀 銘於大阪和泉守国貞	
重文	太刀 銘井上真改／延宝五年八月日	岡山・吉備津彦神社
	刀 銘摂州住藤原助廣	
重文	刀 銘津田越前守助廣／延宝七年二月日	

指定	名称	所蔵
	太刀 銘栗田口住人善太夫忠綱／播州於姫路作之 刀身銘山城国稻荷大明神奉捧御劍／寛永十四年二月吉日	京都・伏見稻荷大社
重文	太刀 銘栗田口一竿子忠綱 彫同作／宝永六年八月吉日	京都国立博物館
	刀 銘栗田口近江守忠綱	京都国立博物館
	刀 銘平安城住正俊	和歌山・紀州東照宮

第八章 京のかたと人びと

重文	黒漆劍 伝坂上田村麻呂佩刀	京都・鞍馬寺
重文	太刀 銘□忠（名物膝丸・薄緑）	京都・大覚寺
重文	革包太刀（号笹丸） 中身 太刀 銘□□国則宗（名物二ツ銘則宗）	京都・愛宕神社
重文	刀 金象嵌銘永禄三年五月十九日義元討捕刻彼所持刀／織田尾張守信長（名物義元左文字）	京都・建勲神社
重文	太刀 銘大和則長	京都・泉涌寺
重美	太刀 銘幡枝八幡宮藤原国広造／慶長四年八月彼岸	京都・幡枝八幡宮
重美	太刀 銘平安城住国路作／慶長拾七曆十月廿二日	京都・御霊神社
重文	太刀 銘豊後国行平作	京都・八坂神社
重文	太刀 銘出羽大掾藤原国路 金具御大工躰阿弥 祇園社御太刀承応三年申午年九月吉日	京都・八坂神社
	劍 銘出羽大掾藤原国路 金具御大工躰阿弥 祇園社御劍 承応三年申午年九月吉日	京都・八坂神社
	刀 銘越中守藤原正俊／祇園社御劍 正保三年十二月吉日	京都・八坂神社
	刀 銘鎮国神器伯耆国大柿宮本能登守菅原朝臣包則／明治元年十月八日奉稻荷社納稻荷神山劍石百日參籠シテ謹鍛之	京都・伏見稻荷大社
	クリス	京都・石清水八幡宮
	祇園祭礼凶屏風	京都国立博物館
	長刀 銘平安城住三条長吉作／大永二年六月三日 切付銘去年日蓮衆退治之時分捕仁仕候於買留申奉寄附感神院江所也 願主江苧石塔寺／之麓住鍛冶左衛門太郎助長 敬白 天文六丁酉歳六月七日	長刀鉾保存会
	長刀 銘和泉守藤原来金道／大法師法橋来三品榮泉 延宝三年二月吉日	長刀鉾保存会
	橋弁慶山牛若丸人形	橋弁慶山保存会
	橋弁慶山牛若丸人形太刀	橋弁慶山保存会
	脇差 銘（忠以花押）	兵庫・姫路神社
	短刀 銘大阪住高橋晴雲子信秀七十五歳作／於京都帝国大学鍛之大正六年十二月吉日	京都国立博物館
	刀 銘於舞子別邸 稠助／以一文字傳 予非鍛冶軍務余暇用日出 丸古釘慰造有不折不曲徳	
	刀 銘舞子有栖川宮庭前卍正次謹作／明治十五年二月吉日	東京国立博物館
	刀 銘蕪城正峯処女作昭和十七年八月日／於洛北衣笠山辺立命館鍛錬場傘笠亭	
	刀 銘立命館義一作／乙酉年二月日	京都国立博物館
	太刀 銘加賀住両山子正峯作之／甲寅年二月日	
	太刀 銘備前国包平作／傘笠正峯作之平成八年十二月日（大包平写）	